

災害時の給水拠点における応急給水訓練

2020年10月08日
南街・桜が丘地域防災協議会本部

東大和市には下記の通り、東京都水道局の応急給水拠点が2カ所あり、震度6以上の地震で、東京都が判断して開錠されます。

- 上北台浄水場（常時使用可能水量 5,330トン）
- 東大和給水所（ 〃 26,660トン、収納能力 80,000トン）
（東大和給水所には、東大和市の人口約 85,000 人が 3ℓ/1日消費するとして、
約 100 日分の常時使用可能水量があることになります。）

10月08日にその2カ所において以下の参加団体による、「災害時の応急給水」訓練が雨天の中実施されました。

（参加団体）

- ・東京都水道局（多摩水道改革推進本部 立川給水管理事務所）
- ・株式会社 PUC（水道局のサポート事業者）
- ・東大和市（防災安全課（2名）、
- ・南街・桜が丘地域防災協議会（8名）

水道局側から本日の訓練説明及び参加者の自己紹介



給水拠点の扉の解錠作業



解錠作業中



扉開門



応急給水拠点での訓練手順説明



発電機室



発電機室へ入り発電機の稼働手順説明



発電機





給水弁

発電機動作操作盤



490Lで連続30時間対応



給水栓群



応急給水の操作手順

準備

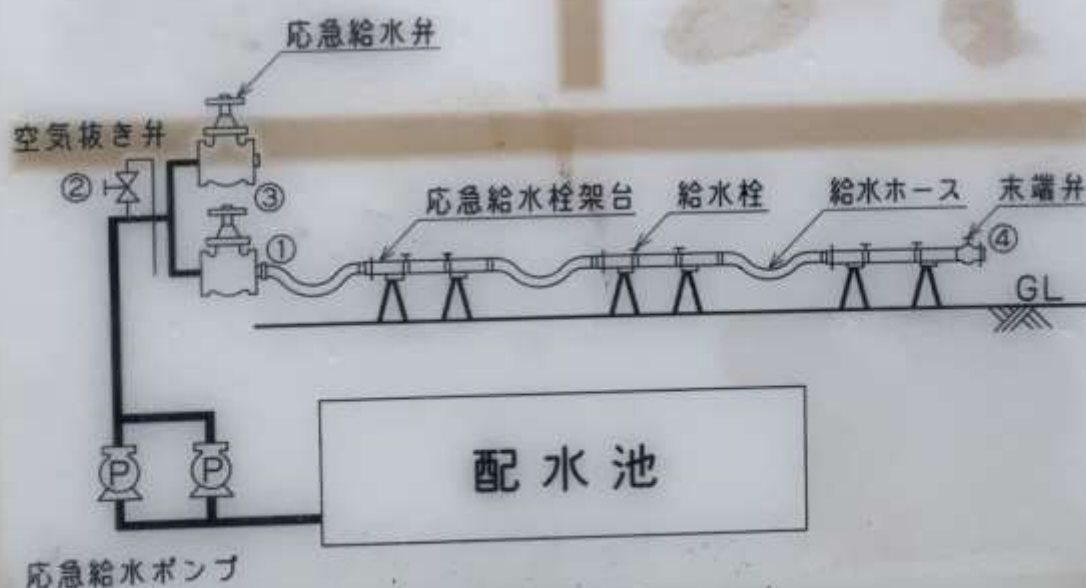
1. 応急給水装置(応急給水栓・架台・給水ホース)の設置。応急給水栓及び架台・給水ホースは応急給水用自家発電室に収納してあります。

運転操作

2. 給水ホースを給水口①に接続する。
3. 応急給水用自家発電室内の応急給水設備操作盤により給水ポンプを運転する。
4. 空気抜き弁②を開け水が出ることを確認し閉める。
5. 応急給水弁③を開ける。
6. 設置した応急給水栓末端弁④を開き排水後に閉める。
7. 応急給水栓架台の給水栓を開けて給水する。

停止操作

8. 応急給水弁③を閉める。
9. 応急給水設備操作盤により給水ポンプを停止させる。



塩素濃度の確認作業(ピンク色が付けば飲料可能)



水道キット操作訓練

水道キット組み立て開始(3 Sets の組み立て／連結を行いました)





3 Sets の連結完了



水道局員による水道キット操作説明



水道キット解体作業



水道キットを収納袋に収納し作業完了



水道局員着用のベスト



水道局員の訓練終了の挨拶



災害時の給水拠点における応急給水訓練

2020年10月01日
南街・桜が丘地域防災協議会本部

東京都水道局が毎年実施している「給水拠点における応急給水訓練」を東京都水道局及び東大和市防災安全課主催により下記の通り実施する予定です。新型コロナウイルス感染拡大防止には注意をして実施しますので、ご興味がありましたら是非ご参加をお願い致します。尚水道局からの開催日程通知が開催直前で申し訳ありませんがご理解をお願い致します。

給水拠点における 応急給水訓練を実施します

日 時 令和2年10月8日（木）
午後1時30分～午後2時30

会 場 東大和給水所
内 容

東京都水道局職員により、給水資器材倉庫の確認や給水資器材の組立など実施します。

以上